



グローバルに考える～大学生と国際協力～

今回ご紹介するのは三宅貴久子先生がご担当する「グローバル社会へ Jump!」の授業です。三宅先生の授業では、対面やテレビ電話を通じてゲストスピーカーの講演やディスカッションが行われ、途上国や国際協力への理解を深めるとともに、「なぜ大学生が国際協力をするのか」という問いについて自分なりの答えを考える取り組みがされていました。

授業の
ポイント!

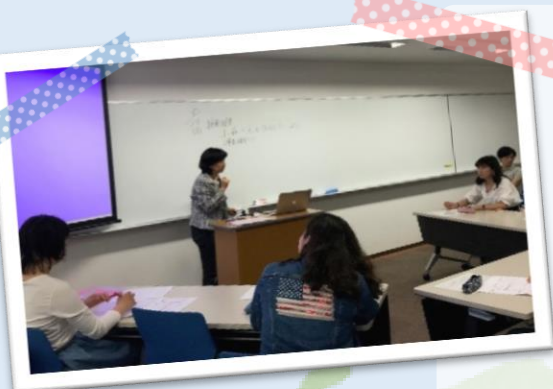
1 ゲストスピーカーによる講演

国際ボランティア経験のある小森嵩也さん（関西大学大学院修士2年）がゲストスピーカーとして講演をしてくださいました。小森さんはフィリピンの孤児院やハワイでの環境学習を体験され、そこで生じた自分自身の考え方の変化や気づいたことについてお話されました。受講生も小森さんの貴重なお話に熱心に耳を傾けていました。



2 ディスカッション

受講生は年齢の近い小森さんのお話に好奇心を刺激されたのか、積極的に質疑応答を行いました。三宅先生も学生のクリティカルな問いを投げかけることで、受講生の思考を深める働きかけがなされ、受講生はディスカッションを通じて、大学生が国際協力をするこの意味を真剣に考えておりました。



授業の感想

三宅先生の授業では小森さんの他、国際教育協力をご専門とする明治大学の岸磨貴子先生とテレビ電話で対話を行い、普段なかなか聞けない国際協力の実情を聞けるなど、当事者のリアルな体験を知ることができたのは大変貴重な経験でした。世界の貧困や戦争といった山積する問題について考えるチャンスが提供されていると感じました。

